



NX-E100

Speaker System

Systeme D'enceintes

•>`n " , , m

スピーカシステム

**OWNER'S MANUAL
MODE D'EMPLOI**

α`¥. » j 'œfi
取扱説明書

安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために)

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

またお読みになったあと、いつでも取り出せる所に必ず保存してください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



記号は注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



天井や壁への取り付けは、安全性確保の為、専門施工業者へ依頼してください。スピーカコードを足や手に引っかけて本機を落下させることのないように、コードは必ず壁等に固定してください。取り付け後は必ず安全性を確認してください。またその後、定期的な落下の可能性がないか安全点検を実施してください。取り付け箇所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。

本取扱説明書には、安全にお使い頂くために、関連機器 (アンプ) を含めた取扱上のご注意等も一部記載されております。

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などの記入がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に費用をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



水場での使用禁止

風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

本機のキャビネットは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。湿気やほこりの多い場所に置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。



移動する場合は、アンプの電源スイッチを切り、接続コードを外してから行ってください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



接続する場合は各機器の取扱説明書をよく読み、アンプの電源を切り、説明に従って接続してください。



長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。

音楽のエチケット



音のエチケット

楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所の迷惑にならないよう、十分気を付けましょう。

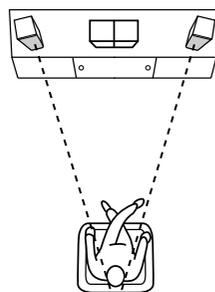
夜間にお使いになるときは、ご近所の迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。

ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう、音量を小さくしてお楽しみください。

設置について

スピーカはしっかりと安定した場所に設置してください。直接床に置き低音がきれいに再生されないときは、スピーカと床の間にブロック等の防振材を入れてください。

スピーカをリスナー側に少し向けると、理想的なステレオ効果が得られます。



レシーバ RX-E100、アンプなどとの接続

接続するときは、必ずレシーバ、アンプなどの電源を切ってください。

レシーバ RX-E100との接続については、付属している取扱説明書も併せてご覧ください。

接続のしかた

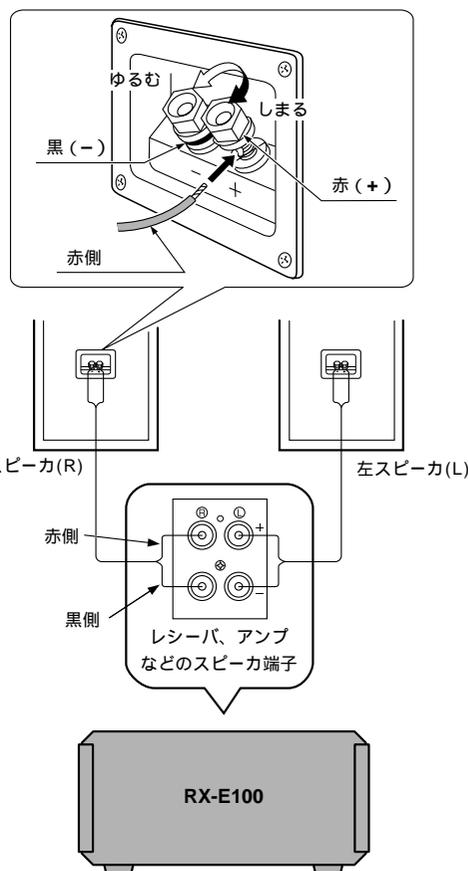
スピーカ背面の入力端子とアンプのスピーカ出力端子を付属のスピーカコード(赤(+)、黒(-))で接続します。本機の赤端子はプラス(+)、黒端子はマイナス(-)です。

左スピーカはアンプのL(左)端子に、右スピーカはアンプのR(右)端子に接続します。それぞれ極性(+、-)を間違えると不自然な音になりますので、ご注意ください。

* ご使用になるアンプによって端子名が異なることがあります。アンプの取扱説明書も併せてご覧ください。

スピーカコードの接続

- ① スピーカコード先端の絶縁物をはがします。
- ② スピーカ端子のネジをゆるめ、端子の穴にコードを奥まで差し込み、端子のネジをしめます。
- ③ 確実にスピーカコードが固定されたか、コードを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

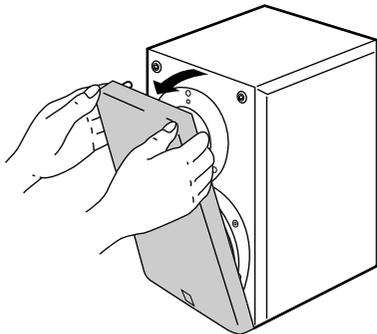


アンプについて

スピーカの許容入力以上の出力を持つアンプを使用される場合は、スピーカ保護のため、最大入力以上の出力を加えないよう、ご注意ください。アンプのトーンコントローラ(BASS, TREBLE等)やイコライザーを最大にして大出力でご使用になったり、特殊な信号(テープの早送り時の音、プレーヤーの針先のショック音、信号発生器の特定の周波数、サイン波などの再生音)を連続して加えることは、スピーカの破損の原因となりますので、絶対に行わないでください。

サランネット

サランネットは、はめ込み式で取り付けられています。取り外す場合は、サランネットの4隅を手前に引くと外れます。取り付けは、サランネット裏側ホルドピンと本体側ホルダーを合わせて、押し込みます。(サランネットの布部分は押さえないでください。)



ご注意

サランネットを外した状態で、スピーカユニットに手を触れたり、工具などで無理な力を加えないでください。音が歪む原因となります。スピーカの振動板には手を触れたり、ショックを与えないでください。音が歪む原因となります。本機は、防磁型設計となっておりますが、万一テレビの近くでご使用になり色ムラなどが生じる場合は、テレビとスピーカの距離を離してご使用ください。

仕様

型式 2ウェイバスレフ型 防磁タイプ)
スピーカユニット

コーンウーファ 13cm

ドームツイーター ... 2.5cm

インピーダンス 6

再生周波数 55Hz ~ 28kHz (- 10dB)

音圧 87dB/2.83V·m

許容入力 60W

最大入力 110W

クロスオーバー周波数 3kHz 12dB/oct.

外形寸法(幅)×(高さ)×(奥行)..... 186×300×222mm

(サランネット含む)

重量 4kg×2

付属品 スピーカコード 4m×2

仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
上記の最大入力値以上の信号を加えないよう充分ご注意ください。

Descriptions on this page are applicable to customers who live in Japan only.
ヤマハホットラインサービスネットワークは、日本国内に居住のお客様専用です。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を未永く、安心してご愛用いただけるためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。

摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口
AVお客様ご相談センター
TEL (03) 5488 - 5500

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

北海道	〒064-8543	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL (011) 512 - 6108
仙台	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL (022) 236 - 0249
首都圏	〒211-0025	川崎市中原区木月1184 TEL (044) 434 - 3100
浜松	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL (053) 465 - 6711
名古屋	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL (052) 652 - 2230
大阪	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL (06) 6877 - 5262
広島	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14 TEL (082) 874 - 3787
四国	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 ヤマハミュージック神戸高松店内 TEL (087) 822 - 3045
九州	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



長年ご使用の機器の点検を！

こんな症状はありませんか？

電源コード・プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
電源コードに深いキズか変形がある。
製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
電源を入れても正常に作動しない。
その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

本ページにはAV製品全般についての内容が記載されています。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部 TEL (053) 460 - 3451

品質保証室 TEL (053) 460 - 3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

